

あんまち部視察研修

日時:平成 29 年 9 月 20 日(水)

場所:高齢者居場所「すまいる・サロン」

「原クリーンハイツ自治会 155 戸・約 330 人、高齢化率 36%」

参加者:16 名

原クリーンハイツの暮らしを考える会のメンバーの皆さんが暖かく迎えてくれました。感想の第一は、男性が運営メンバーとして「還暦 0 歳を奨め」各自の得意分野を分担して女性メンバーと協力し、サロン活動も青色 T シャツを着用して生き生きとされていたことでした。会長さんの活動概要・DVD での活動状況・サプライズ誕生会では、あんまち部の 9 月と 8 月の 3 人が嬉しいお祝いを受けました。毎週土曜日の「すまいる喫茶」での試食としてのコーヒーとさぬきうどんを美味しく頂きました。「すまいる喫茶」はいつも大賑わいで民生委員・福祉委員の方も参加され、情報交換や相談の場として役立っているとのことでした。また特定の人による見守り・支援から高齢者居場所の活動などで地域全員による見守り・支え合いになってきているとのことでした。

店長の男性 A さん(88 歳)は、「受け身で生きるのではなく自分に合った役割を持つことが元気な秘訣です」と毎週参加され、元気でお手伝いされています。健康体操(ころばん体操)を DVD 見ながら全員で行いました。サロンでは毎週火曜日はカラオケ、毎週木曜日は麻雀教室など週 3 回活動し、助成金 7 万円を受け、また住民が集う色々な行事をして、「みんなが楽しく・元気に・仲良く・優しくなれる 4 つの願い」を合言葉に地域住民が、安心して笑顔で楽しく暮らせる小地域コミュニティをめざして活動を続けて行きたいと言われていました。

最後に、高台広場で記念撮影をし 12 時過ぎに、牟礼の文化施設(ジョージナカシマ記念館・道の駅・石の民族資料館)を見学して 16 時に三谷コミュニティセンターに到着、とても有意義な楽しい一日研修となり大変お疲れさまでした。

山大寺上 十河幸恵

高齢者の居場所づくりなど、住み慣れた所で
安心して暮らすには何をすればいいか
略して「あんまち」

第 18 号

発行日

平成 29 年 12 月 15 日

発行者

三谷地区コミュニティ協議会

編集:あんまち部:広報係



4年目、続けよう!

「あんしん広場」の輪と絆・子どもとの
ふれあいと「ゆるやかな見守り」!!

「あんしん広場」だより



【 西三谷下・北 虹の会 】

7月8日(土)地区の子供たちが多数参加できるよう、初めての「七夕・夕涼み会」を開催した。

当日は、梅雨明け間近で天候を気にしつつ準備に追われ、オープニング前の急な雨に「回復して」との願いを込めて、雨除けテントも準備してオープンしました。スタッフ一同「来てくれるかな、来てくれたらいいのにな」と口々に、その心配をはね返すように最初のお客さんから次々と来ていただきました。あいにくの天気でしたが子供たちの花火や、焼鳥、飲み物、かき氷、ポップコーン、紙芝居と各グループとも大勢の人で賑わい「焼鳥もうないんなあ、また来年来てや」と来年につながる会話で終わることができました。



三溪小学生によるおもてなし

あんしん広場 in みたに

(12月2日)

多数のご参加
ありがとうございました



ふれあい体操



お手玉体操



ハッピーミニライブ



ハワイアンダンス



太極拳



龍雲中学校合唱部

「あんしん広場」だより

【 原中 ハラッパの会 】

2013年4月から始まったあんまち広場「原中ハラッパ」は今年で5年目を走っています。ハラッパは、のびのび健康体操を中心にした身体を動かせることを第一目標にしました。5年前テレビも椅子もない部屋から始まり、現在はテレビや椅子はこの活動をきっかけに get!! この体操を基本に若返りエアロビックス「明日があるさ」、チラシ広告で作った棒体操「与作」、鎌野先生の太極拳教室、脳トレ効果の大きいお手玉遊びなどマンネリ化しないように気をつけています。再利用をした小物作り「CHIEKO 工房」では、桐本千枝子さんの技とアイデアで素晴らしいリフォーム作品が次々と生まれました。風呂敷をエコバッグに変身させ、小さな布切れでティッシュケース、小物入れバッグ、着なくなったジーンズがバッグに、昔懐かしいお手玉作り、など地域の中に匠の技が沢山あるのでその方達にお手伝いしてもらいます。また、桐本武司さんに菊作りも教わりました。高井幸子さん、入江ひろみさん指導の牛乳パック椅子作りも楽しみながら便利用品が次々と増えていきます。今年の作品は、「あんしん広場 in みたに」でお見せします。

